

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

JCOG 0304 trial
 Neoadjuvant or Adjuvant IFM+ADR 療法
3 週毎 コース予定
疾患名 軟部肉腫

主治医 _____ 指導医 _____ HBs 抗原(+ -) HBc 抗体(+ -) HCV 抗体(+ -)

スケジュール

		day1	2	3	4	5
イホマイド(イホスファミド)	2 g/m ²	↓	↓	↓	↓	↓
ドキシソルビシン	30 mg/m ²	↓	↓			
ウロミテキサン(メスナ)	400 mg/m ²	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓	↓↓↓

【注意】 *1 日の尿量が 3000 mL 以上になるように化学療法開始前日より輸液を行う。

*補液にメイロンを混注して尿量を確保する。

*イホスファミド投与時は出血性膀胱炎予防目的でメスナを点滴する。

*メスナの 1 回投与量(mg)は、イホスファミド 1 日投与量(mg)の 20%量とする。

*メスナの投与は、イホスファミド投与開始時、4 時間後、8 時間後の 3 回行う。

*ドキシソルビシンの総投与量は 500 mg/m² を超えないこと。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day 1 抗がん薬投与 1 時間半前にアプレピタントカプセル(125 mg)1C を内服

- | | |
|--|------------------------|
| ① 生食 500 mL | 血管確保 |
| ② グラニセトロン注 3 mg 1 筒+ デキサメタゾン注 9.9 mg (3 mL) + 生食 20 mL | 側管静注 |
| ③ ウロミテキサン | 側管静注 |
| ④ イホマイド + 生食 500 mL | 点滴静注 240 分 (125 mL/時間) |
| ⑤ ウロミテキサン | 側管静注 ④を開始した 4 時間後 |
| ⑥ ドキシソルビシン + 生食 50 mL | 点滴静注 5 分 |
| ⑦ ウロミテキサン | 側管静注 ④を開始した 8 時間後 |

尿量をみて必要により補液を追加

Neoadjuvant or Adjuvant IFM+DXR 療法

day 2 アプレピタントカプセル(80 mg)1C 1×朝 内服

- ① 生食 500 mL 血管確保
- ② グラニセトロン注 3 mg 1 筒+ デキサメタゾン注 6.6 mg (2 mL) + 生食 20 mL 側管静注
- ③ ウロミテキサン 側管静注
- ④ イホマイド + 生食 500 mL 点滴静注 240 分 (125 mL/時間)
- ⑤ ウロミテキサン 側管静注 ④を開始した 4 時間後
- ⑥ ドキソルビシン + 生食 50 mL 点滴静注 5 分
- ⑦ ウロミテキサン 側管静注 ④を開始した 8 時間後

尿量をみて必要により補液を追加

day 3-5 アプレピタントカプセル(80 mg)1C 1×朝 内服

- ① 生食 500 mL 血管確保
- ② グラニセトロン注 3 mg 1 筒+ デキサメタゾン注 6.6 mg (2 mL) + 生食 20 mL 側管静注
- ③ ウロミテキサン 側管静注
- ④ イホマイド + 生食 500 mL 点滴静注 240 分 (125 mL/時間)
- ⑤ ウロミテキサン 側管静注 ④を開始した 4 時間後
- ⑥ ウロミテキサン 側管静注 ④を開始した 8 時間後

尿量をみて必要により補液を追加

	コース				
	day1	day2	day3	day4	day5
月 日	/	/	/	/	/
イホマイド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓
ドキソルビシン 開始時刻	↓	↓			
確認					

Neoadjuvant or Adjuvant IFM+DXR 療法

	コース				
	day1	day2	day3	day4	day5
月 日	/	/	/	/	/
イホマイド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓
ドキソルビシン 開始時刻	↓	↓			
確認					

	コース				
	day1	day2	day3	day4	day5
月 日	/	/	/	/	/
イホマイド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓
ドキソルビシン 開始時刻	↓	↓			
確認					

	コース				
	day1	day2	day3	day4	day5
月 日	/	/	/	/	/
イホマイド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓
ドキソルビシン 開始時刻	↓	↓			
確認					